

第178回「河川文化を語る会」のご案内

講演 **東日本大震災の教訓** **— 防災への備えと復興への提案 —**

講師 むらい しゅんじ
村井 俊治 氏

(東京大学名誉教授/社団法人日本測量協会 会長)

曾祖父が三陸で起きた明治津波で亡くなり、生き残った祖母から津波から逃げる教訓を受けた経験から、津波で助かった人の話が一番教訓が含まれていると考えた。東日本大震災で助かった人の話を中心にして、現地調査および衛星画像などを参照して、何が命を救ったのか、または不幸にして何が命を奪ったのかを検証し、生きた教訓を引き出した。一瞬の判断、先人の教え、津波の知識、情報発信ミス、施設の立地、誘導ミスなど様々な失敗や成功が浮かび上がった。

問題はこれからの防災への備えと復興であろう。防災の最大のポイントは地震の予測であるが、講師は地震予測のビジネスの起業に関与したので、地震予測の可能性を紹介する。防災の備えでは、津波の直撃でも破壊しなかった斜面防護の「フォレストベンチ工法」を紹介し、防潮堤・堤防への応用に言及したい。瓦礫処理の方法として、犠牲者の霊を祀る前方後円墳「平成陵」を建設することで600万トンの瓦礫を処理するアイデアを紹介する。また、河川・運河を利用した北上川の新たな遊覧船構想も披露したい。

【講師略歴】

昭和14年東京都生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業。昭和46年東京大学生産技術研究所助教授、昭和58年同教授。平成12年定年後東京大学名誉教授。JICA専門家として5年間アジア工科大学院(AIT)に派遣される。1992年～1996年、国際写真測量・リモートセンシング学会(ISPRS)会長。平成12年～平成24年、日本写真測量学会会長。平成19年から日本測量協会会長に就任。専門は測量・写真測量・リモートセンシング、GISなどジオインフォマティクス。最近GPSを用いた地震予測の研究に従事。

- 開催日時 平成25年4月22日(月) 18:00～20:00
- 開催場所 厚生会館(全国土木建築健保) 5F「青竹・紅梅」
(東京都千代田区平河町1-5-9 (財)土木建築厚生会 TEL: 03-3264-1241)
- 交通 地下鉄有楽町線: 麹町駅1番出口徒歩2分, 半蔵門線: 半蔵門駅1,2番出口徒歩5分
- 参加費 二種正会員(個人会員)/学生: 無料, 一般の方: 500円(当日申し受けます)
- 申し込み/問い合わせ 氏名・(勤務先)・住所・TEL・(FAX)・個人会員/一般/学生の別を明記の上、FAXまたはE-mailでお申し込みください。(参加票の送付等はありません。直接会場へお越しください)
公益社団法人日本河川協会「河川文化を語る会」事務局 担当: 高木, 佐藤
TEL: 03-3238-9771 FAX: 03-3288-2426 E-mail: kataru@japanriver.or.jp
- 申込締切 定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

主催 公益社団法人 日本河川協会

当講演会は「土木学会CPDプログラム」として認定されています。



(切り取らずにこのままFAXしてください)



日本河川協会 行 FAX: 03-3288-2426

第178回「河川文化を語る会」参加申込書

ふりがな
氏名 二種正会員(個人会員)・一般・学生 (いずれかを○で囲んでください)

(勤務先)

※職種(いずれかに○) コンサルタント・建設会社・その他民間企業・行政・財団/社団・NGO/NPO等・その他

住所(勤務先又は自宅) 〒

TEL () FAX ()

E-mail

(ご記入いただきますと、次回よりE-mailにてご案内を差し上げます。パソコンのメールに限らせていただいています)

★初めてお申し込みの方へ★

当講演会を何でお知りになりましたか?

(※ ご連絡いただきました個人情報は、厳重に管理した上で、講演会等当協会からのご案内に利用させていただきます。)